



平成 24 年 5 月 30 日

各 位

東京都千代田区丸の内 1 丁目 5 番 1 号
株式会社 パソナグループ
代表取締役グループ代表兼社長 南部 靖之
コード 2 1 6 8 東証第一部
問合せ先 取締役常務執行役員 仲瀬 裕子
(TEL. 03 - 6734 - 0200)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 7 月 20 日に公表いたしました平成 24 年 5 月期の通期連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 24 年 5 月期 通期連結業績予想の修正（平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	183,000	2,850	2,900	650	円 銭 1,735 64
今回修正予想（B）	181,000	1,750	1,880	50	133 51
増減額（B - A）	2,000	1,100	1,020	700	-
増減率（%）	1.1	38.6	35.2	-	-
（参考）前期実績 平成 23 年 5 月期	178,806	2,432	2,571	412	1,101 88

(2) 修正の理由

足元の日本経済は、復興需要の下支えもあり景気は緩やかに回復しておりますが、エキスパートサービス（人材派遣）においては、派遣法改正を見据えて企業の需要抑制が継続していることに加え、当社グループでは派遣職種の精査を厳格に実施したこともあり、エキスパートサービスの売上高は前年を下回って推移しています。一方で、クライアント企業の業務効率化につながる派遣からインソーシング（請負・委託）への移行を推進したことや、ノウハウを活かし積極的に提案営業を展開したことから、インソーシングの売上高は前期比で大幅に増加する見込みです。

そのような中、年度後半から地方自治体の案件や新規案件が増加してきており、特に新規案件はスタート時に一時的に原価が膨らむことから売上総利益を押し下げる要因となりました。

また本年 5 月に、BPO 事業を手掛けるピーウィズ株式会社を子会社化するなど、次期以降のインソーシング・BPO 事業の更なる拡大に向けての体制構築が急務となり、プロジェクトマネージャーの増員や育成、システム投資など案件管理や品質向上のための整備・構築を前倒しで実施したことにより販管費が期初計画より増加することとなりました。

これにより、売上高は概ね期初計画どおりで推移しましたが、営業利益、経常利益が期初計画を下回る見通しとなりました。また、法人税率の変更に伴い繰延税金資産の一部を取り崩すことから、税金等調整額が膨らみ、当期純損失となる見通しから期初の計画を修正させていただきます。

次期はインソーシング・BPO事業の拡大とともに、プロジェクト管理体制を強化して更なる効率化を実現し、早期の業績回復に努めてまいります。

2. 配当予想の修正について

(1) 平成 24 年 5 月期 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	-	1,200円	1,200円
今回修正予想	-	1,000円	1,000円
当期実績	-	-	-
前期実績(平成23年5月期)	-	1,000円	1,000円

(2) 修正の理由

当社は業績に応じた株主還元を実施することを基本方針として、連結配当性向 25%を目標とし、同時に継続的かつ安定的な配当の維持に努めております。

今期は上述のとおり、当期純損失となる厳しい業績見通しとなりましたが、事業拡大のための投資を前倒して行うなど一時的な要因によるものが大きいことから、継続配当を優先し、平成 24 年 5 月期の期末配当予想を前期と同額の 1,000 円に減額修正させていただきます。

上記の予想は現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上